

各位

会社名 株式会社トランザクション
 代表者名 代表取締役社長 石川 諭
 (銘柄コード 7818 : 東証第一部)
 問合せ先 取締役 北山 善也
 電話 03-6861-5577

第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえて、2018年10月12日に公表いたしました2019年8月期第2四半期連結累計期間の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

1. 2019年8月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値の修正 (2018年9月1日～2019年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,034	901	910	603	21.09
今回修正予想 (B)	8,144	1,042	1,056	710	24.83
増減額 (B-A)	110	140	145	106	
増減率 (前回予想比)	1.4%	15.6%	16.0%	17.7%	
(ご参考)前期実績 (2018年8月期第2四半期)	7,694	846	844	540	19.05

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、「モノづくり」を軸として、社会環境や消費動向の変化を踏まえた「エコプロダクツ」「ライフスタイルプロダクツ」「ウェルネスプロダクツ」の3プロダクツに注力いたしました。主に、「エコプロダクツ」では主力製品であるエコバッグやタンブラー・サーモボトルの売上が前期に続き伸長したこと、「ライフスタイルプロダクツ」ではエンタテインメント業界における顧客が拡大したこと、「ウェルネスプロダクツ」においては取扱い製品を拡充したことにより、連結売上高は前年同期間に比べ伸長し前回予想を上回る見通しであります。また、利益につきましても、売上高の伸長による売上総利益の増加、販売管理費の計画的支出により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益がそれぞれ前回予想を上回る見通しとなりました。

なお、通期連結業績予想につきましては、現時点において前回予想した内容から変更はありません。今後、わが国の消費環境や為替相場の動向を勘案し、通期連結業績予想の修正が見込まれる場合には速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上